

一般質問

支援室という部署はないが支援監はいるため相談してほしい。市とミニミニティ会議との協議の場は、コロナ禍により少なくなったと思うが、今後も引き続き市とミニミニティ会議等との協議の場というものは開催して参りたいと考えている。

委員会は、時間外労働やミニミニケーションを含む職場環境や健康診断の受診の呼びかけなどを行っている。

方法により、毎月1回開催されている他、年2回、6つの衛生委員会が参考し、対面により合同衛生委員会を開催している。

委員会が書面や対面の方法により、毎月1回開催されている他、年2回、6つの衛生委員会が参考し、対面により合同衛生委員会を開催している。

支援室という部署はないが支援監はいるため相談してほしい。市とコミュニティ会議との協議の場は、コロナ禍により少なくなったと思うが、今後も引き続き市とコミュニティ会議等との協議の場というものは開催して参りたいと考えている。

委員会が書面や対面の方法により、毎月1回開催されている他、年2回、6つの衛生委員会が参考集し、対面により合同衛生委員会を開催している。

委員会は、時間外労働やコミュニケーションを含む職場環境や健康診断の受診の呼びかけなどを行っている。

の実施について指導していく。

講じながら、作物の生産に対する支援を行ない、食料供給基地としての一翼を担うべく、農畜産物の生産維持に努めていきたい。

機JAS認証取得の支援等必要性が生じることも考えられることから、状況を見ながら検討したいと考えています。

A 各総合支所の地域支援室が廃止され指導が弱体化するのではないかと不安がある。また、市と協議の場について是非開催してほしい。

Q ■コミュニティ活動について



わかやなぎ しょ あき
Shigeru Nakayama

A 市役所全体では花巻市衛生委員会、各総合支所衛生委員会など、6つの衛生委員会が設置されている。各衛生

Q 時間外勤務、病気休暇の実態を踏まえて、花巻市衛生委員会でどのような話し合いや取り組みが行われているか伺う。

■職員の安全衛生について

若柳 良明 議員



■介護事業所の廃止、休止について

A 令和6年8月20日までの実態は、居宅介護支援事業所が2事業所休止、通所介護事業所が3事業所廃止、1事業所休止、短期入所生活介護事業所が1事業所休止、合計7事業所である。

Q 介護事業所の廃止および休止の実態について伺う。併せて、その背景について伺う。

A 岩手中部水道企業団において、令和5年度の水質調査結果は不検出と報告済みであり、令和6年度は、現在検査依頼中である。市が設置許可者の東

Q PFA Sは、発がん性や新生児の体重抑制等健康への影響が指摘がされ全国の河川や水道水等から高濃度の検出がある。市の調査を伺う。

A S) の調査について

■ 農業振興について

A 世界の食料需給が不安定な状況の中、国民に食料を安定的に供給するためには大変重要なこと。食料の安定的な供給のため、農産物の生産を行ううえで、

Q 食料安全保障の取り組みについて伺う。



A 市内有機農業推進の主体となる協議会の設立と並行して実施計画の内容について協議検討を行っている。今後、有機農業実施計画において予定している化学

Q オーガニックビレッジ宣言に向けた取り組みについて伺う。

よこた しのぶ 横田 忍 議員



西南地区の小学校統合並びに西南中学校との小中一貫校および義務教育学校について伺う。

Q 農家の減少において生産水準が維持でき、食料供給体制を確立するためのスマート農業促進に向けた取り組みについて伺う。

A スマート農業技術の実演会や導入経費の一部補助を行っているが、今後も国が行つてきた支援内容との整合性を検討し、必要に応じて新たな支援の創設に取り組むなど、引き続き推進していく。

A 社会保障費を中心とした財政需要が増加している。 国の地方創生臨時交付金や社会資本整備総合交付金などの配分によつて予算規模が大きく変動する。

歳入で一番大きな要因は、ふるさと納税の増額である。

歳出では、子育て支援、公共施設の老朽化対策など優先して取り組む事業に予算計上している。

A 定年延長や再雇用で、65歳以上の男女も就業者数が少し伸びていると思われる。また、64歳以下の性就業割合が少し増していると推測している。出産等で離職される方が少ないのでないか。

Q 本年9月をめどに策定するとしていた、事業再生計画の進捗状況について伺う。

Q プロポーザル方式による意見集約が頓挫したようだが、今後どう進めるのか伺う。

A 対話型による意見集約を行う専門的な知識と実績を有する慶應義塾大学SFC研究所の協力を得て、助言や監修、ファシリテーターをしていただける方の紹介をお願いした。市民間の対話の進め方なども検討を進めていく。市職員もその中に入っていくことも考えている。

おばら やすのぶ
小原 保信 議員

■予算規模について

■ 納税義務者数について

いとう
伊藤 せいこう
盛幸 議員

